

スーパーグローバル大学創成支援事業

GLOBAL UNIVERSITY「世界適塾」

外部有識者会議レポート 2023年2月





国立大学法人 大阪大学
総長

西尾 章治郎

生きがいを育む社会の創造、 世界屈指のイノベティブな大学へ

着実に成果を上げる大阪大学の スーパーグローバル大学創成支援事業

新型コロナウイルス感染症の 拡大に伴う影響

2019年12月からの新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は、本学のスーパーグローバル大学創成支援事業における多くの事業推進にも影響を及ぼし、とりわけ外国人留学生の受入及び日本人学生の海外派遣については、渡航制限を受け大きく落ち込むこととなりました。このような困難な状況の中にあっても、本学では2020年度からオンラインを活用したバーチャル留学プログラムを構築し、学生の国際交流を継続しました。また、ASEANキャンパスの拡大や新たなグローバルナレッジパートナーとの協定締結による連携強

化など、スーパーグローバル大学創成支援事業を一步ずつ着実に前進させてまいりました。

OU (Osaka University) マスタープランの策定

近年、指定国立大学法人制度の創設(2017年)や大学ファンドの運用開始(2021年)など、さまざまな大学改革に係る施策が矢継ぎ早に行われ、国立大学を取り巻く環境はまさに、大変革の真っただ中にあります。また、新型コロナウイルス感染症の克服や、カーボンニュートラル・SDGsの実現をはじめとした社会システムの大きな転換が求められる中で、大学での人材育成やイノベーション創出への社

多様性の尊重と豊かな時間により、自由な発想と高い知性を育む

OUマスタープラン2027の特徴

大学の中核となる教育、研究、経営を縦軸に、これらを横断的に支える情報基盤整備、グローバル戦略、Diversity & Inclusion、豊かな時間の創出、ブランディングを横軸として互いに編み合わせ、網羅性と柔軟な発展性を併せ持つ中長期的なプランを策定。

教育 基盤

知性あふれる 人材の育成環境

未来社会のあり方を
創造し、社会変革を導
く人材の育成

研究 基盤

自由な発想が 芽吹く環境

新たな社会の創造に
資する基礎研究の推
進と新たな価値の実
装化への先導

経営 基盤

共創を中核に 据えた経営

共創活動のレベル
アップと教育・研究・
業務システム改革に
よる経営基盤の充実

コロナ新時代に対応する情報基盤整備

多様な人材が輝くグローバル戦略とDiversity & Inclusionの深化

自由な発想が芽吹く豊かな時間の創出

社会との共創を醸成し、活性化させるブランディングの展開

会からの期待が一層高まっています。

このような社会の大きな変化に対応するために、大阪大学では、学内外の構成員、ステークホルダーとの対話を重ね、2022年度から始まる第4期中期目標期間に加え、さらにその先も見据えた中長期的な経営ビジョンである「OU (Osaka University) マスタープラン」を取りまとめました。

大阪大学は、この「OUマスタープラン」において、卓越した高等教育機関として、社会からの負託に応えるべく、新たな社会を創造できる知性あふれる人材を持続的に育成するための教育基盤の整備を目指しています。さらにスーパーグローバル大学創成支援事業の推進により盤石となった海外キャンパスを中心としたネットワークも活用し、地域的な社会課題、及び地球規模課題の解決に資する教育研究を実現してまいります。

OUマスタープラン実現に向けて — SLiCSセンターの設置

大阪大学では、第3期中期目標期間において、社会課題の解決に資するイノベティブな人材育成に取り組んでまいりました。2016年に発足した高等教育・入試研

究開発センター(CHEGA)は、国際的に評価される本学の高大連携、入試改革並びに教育改革と質保証を支援、推進するとともに、各種のセミナー(HEAD Seminars: Higher Education and Admission Design Seminars)を多数開催することを通じて、国内外の高大接続改革、高等教育改革に関するさまざまな情報発信を行うとともに、入試専門家育成の履修証明プログラムを提供してまいりました。

今後、必要となるのは、この高い教育成果を可視化し、社会のさまざまなステークホルダーの皆様を知っていただくとともに、本学のさらなる教育改革に繋げるための取組です。

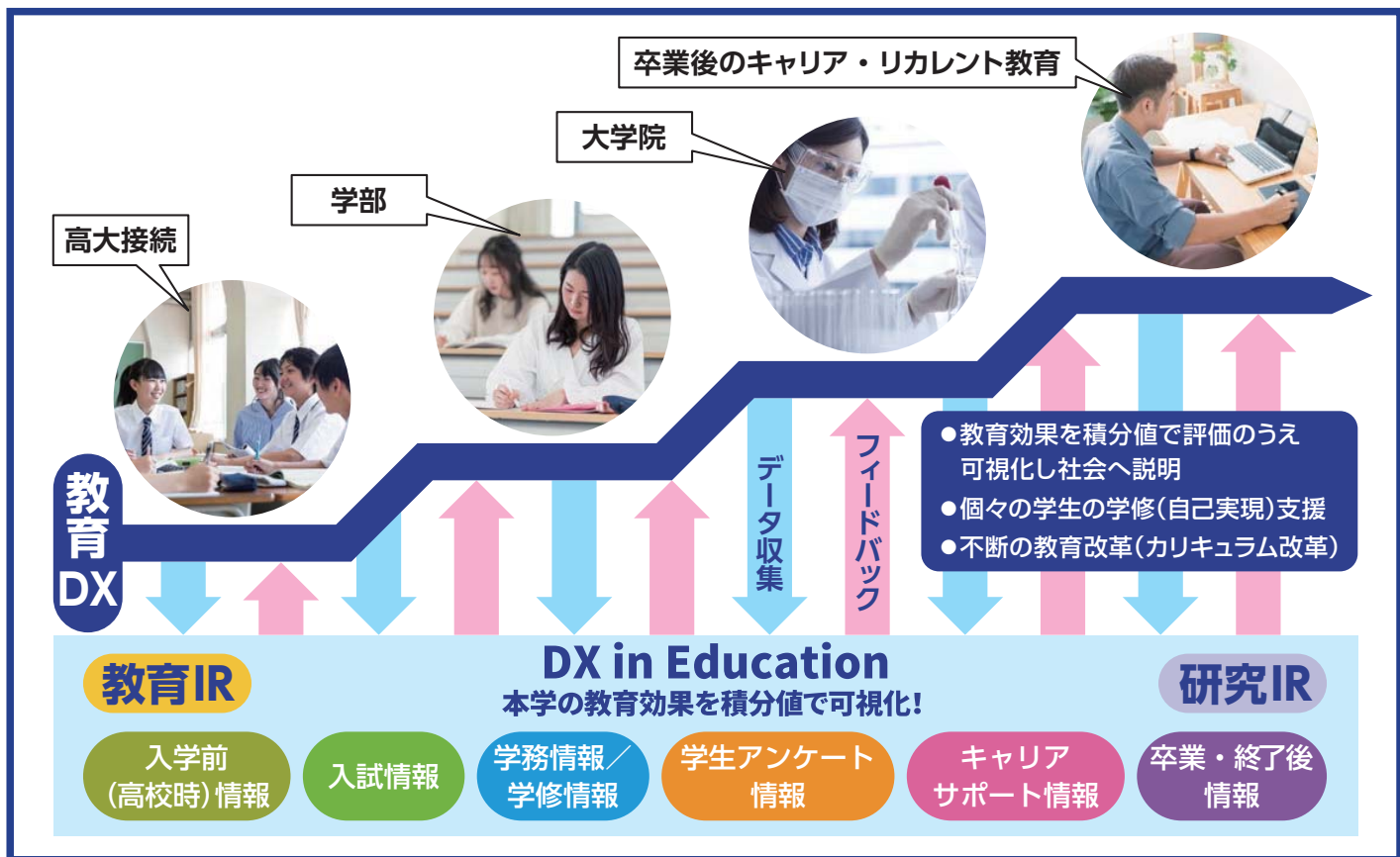
このことを実現すべく、本学ではデジタル技術を最大限に活用した学習者本位の教育の推進と、教育の質保証の更なる充実を企図し、全学教育推進機構、サイバーメディアセンター並びにキャリアセンターとの緊密な連携のもとでCHEGAを改組し、高大接続部、入試広報・入試開発部、教学DX部、教学支援部、教学質保証部、キャリア教育部及び教学IR・教学データ基盤部の7部からなるスチューデント・ライフサイクルサポートセンター(通称「SLiCSセンター」)を2022年4月に設置いたしま

した。

このSLiCSセンターの設置により、データに基づいた個別最適な学生・学習支援を入学前から卒業・修了後まで本学学生一人ひとりに提供することに加え、蓄積したデータや情報を分析することで、本学在学中のみならず、卒業・修了後を含めた中長期的な教育成果をも可視化することが可能となります。

このデータベース活用の一例として、本学卒業生一人ひとりの高校時代のさまざまな活動履歴、本学における履修履歴、さらには、社会人としてのキャリアパスなどに関するデータを参照することができます。そのデータの分析を通じて、本学における教育課程が卒業・修了生の「生きがいを育む」こといかに繋がっているか、つまり、真の教育評価を実現できると考えています。大阪大学の教育に対する皆様からのより一層のご理解と温かいご支援を賜ることができるよう、本学はこれからも不断の教育改革に取り組んでまいります。

そして、「OUマスタープラン」の下、今後もさらに国際的な競争力を高め、「生きがいを育む社会の創造」に貢献する「世界屈指のイノベティブな大学」を目指してまいります。



ASEANキャンパスの 深化・広域化

ASEANと日本の次世代を担う高度グローバル人材を育成し、ASEAN各国の社会や文化に根差した形での課題解決に貢献することを目的として、コロナ禍においても拡充を続けています。2021年度までにタイ・インドネシア・ベトナム・ブルネイに、2022年7月にはマレーシアに設置し、ダブル・ディグリー・プログラムや共同研究の実施をはじめ、キャンパス設置大学等と連



OUICPに参加し、来日したASEAN地域からの外国人留学生たち

携した教育研究活動を展開しています。

2020年度からASEANキャンパスでの現地指導と遠隔指導を組み合わせたハイブリッド型の短期留学プログラム「Osaka

University International Certificate Program (OUICP)」を開発・実施し、受入・派遣を合わせ、2022年11月までに累計112名が参加しました。



グローバルナレッジパートナーとの連携

戦略的パートナーシップ協定締結校との組織的な連携により、SDGsに代表される地球規模の社会課題の解決に挑む分野横断的な国際共同研究プロジェクトを形成し、世界最先端の研究を推進するとともに、世界水準の高度人材育成に取り組んでいます。2021年4月には大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記



「Osaka University Partner Summit」における共同宣言への署名

念シンポジウムとして「Osaka University Partner Summit」を開催し、パートナー校等の学長間で今後より強固で広域な連携を目指すことを確認し、共同宣言に署名しました。本取組のマイルストーンとして、2025年の大阪・関西万博で連携の成果を世界に発信する予定です。

戦略的パートナーシップ協定締結校(2022年12月時点)

- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)(英国)
- ゲッティンゲン大学(ドイツ)
- モナシュ大学(豪州)
- グローニンゲン大学(オランダ)
- 上海交通大学(中国)
- カールスルーエ工科大学(ドイツ)
- カリフォルニア大学デービス校(UC Davis)(米国)
- プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)(カナダ)
- メルボルン大学(豪州)
- カリフォルニア大学サンディエゴ校(UC San Diego)(米国)



2021年学生動画コンテスト最優秀賞
「Amreta: Creating less-plastic world」

学生動画コンテスト／国際学生SDGsフォーラムの開催

コロナ禍においてもオンラインによる学生交流活動を推進し、本学学生と世界各国のパートナー大学の学生を繋ぐ機会を設けるため、2021年6月に学生動画コンテスト及び国際学生SDGsフォーラムを開催しました。社会問題やSDGsに係る「持続可能な開発のための3分間のインスピレーション」をテーマとした動画コンテ

ストには本学及び海外協定校から10カ国69本の応募があり、その表彰式を兼ねた国際学生フォーラムには、15カ国234名が参加し交流を深めました。

2022年度も引き続き動画コンテストを実施するとともに、学生のSDGsに関する理解を深めるため、新たに講義科目を開設し、136人が受講しました。



グローバルビレッジ津雲台

グローバルビレッジの供用開始

2020年10月にグローバルビレッジ津雲台(396戸)、2021年4月にグローバルビレッジ箕面船場(320戸)の供用を開始しました。

グローバルビレッジ津雲台は、学寮、教職員宿舎として同じ敷地内に一体的に整備し、留学生を含むあらゆる学生、教職員が同じ場所で生活し、活発なコミュニケーションを可能とする国際的生活環境を実現しています。これにより、地域との交流を通じた人と人との新たなインタラクシ

ョンを生み出す中で、本学のモットーである「地域に生き世界に伸びる」人材の育成をはかります。

グローバルビレッジ箕面船場は、世界と市民を結ぶ都市型キャンパスである箕面新キャンパス内に、日本人学生と留学生が日常的に交流する混住型の学寮として整備しました。本学の学生がさまざまな文化を学び、多様性を受入れ、グローバル社会でその真価を最大限に発揮する礎となる環境を創出します。



外国学研究講義棟

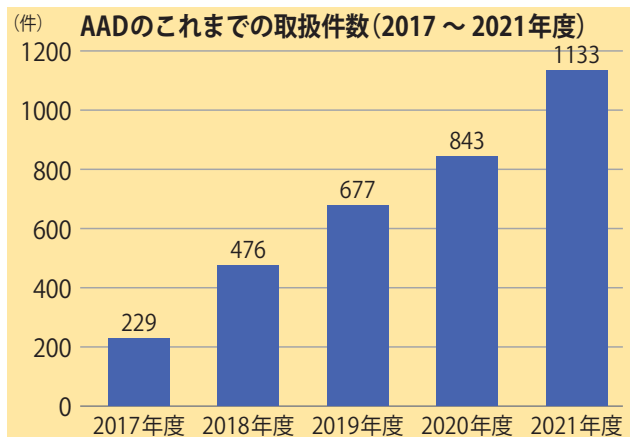
OUグローバルキャンパス(箕面新キャンパス)開学

世界の言語と文化・社会に関する研究の集積拠点、グローバル人材を育成する交流拠点、社会との共創を推進するまちづくりの核として、2021年4月に箕面キャンパスを移転し、学寮を整備しました。OUグローバルキャンパスは、世界的な環境性能認証であるLEED-NDのゴールド認証を取得(大学キャンパスとして国内初)し、研究講義棟はLEED-NCのゴールド認証を取得(大学施設として国内2例目)し、サステイナブルキャンパスを実現しました。また、隣地の箕面市立図書館は、本学が指定管理者として運営を開始し、「公・大連携による新しい図書館」という国立大学で初となる取組を展開しています。

留学生窓口(アドミッション支援デスク)の拡大

これまで、「中国大陸の大学を卒業した者」に限り申請を受け付けていたアドミッション支援デスク(AAD)は、2021年11月に「海外の全ての大学を卒業した者」へと対象を拡大しました。

AADは留学志願者の書類を一元的に受け付け、初期スクリーニングを実施し、教員や各研究科との情報共有を行うことにより、教員の負担を大きく軽減するとともに、2020年度からは留学志願者の受入にあたり、安全保障輸出管理面でも重要な役割を担っています。AADを利用する志願者は年々増加し続け、本学の全研究科にわたり優秀な留学生の受入に大きく寄与しています。



国際共創大学院学位プログラム推進機構(i-TGP)の強化と 学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システムの推進

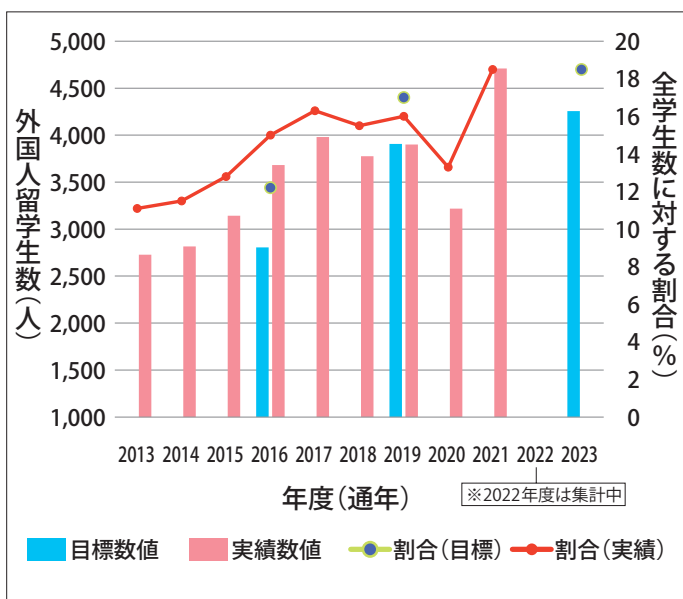
大学院教育の充実・改革を図り、アカデミアのみならず広く社会のイノベーション創出の場で活躍できる優れた博士人材の育成を推進するため、総長を機構長とする国際共創大学院学位プログラム推進機構(i-TGP)を設置しており、この体制の下、「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム Double-Wing Academic Architecture (DWAA)」を推進し、全学展開するため、積極的に広報活動を行うとともに、多彩な横断型教育プログラムの充実化を図るための制度更新を行っています。

さらに、i-TGPでは、次世代研究者育成推進室(2021年10月)、大学院横断型教育統括部門(2022年4月)を設置し、博士人材の育成を推進するため、組織体制を整備しました。



◎共通指標の分析

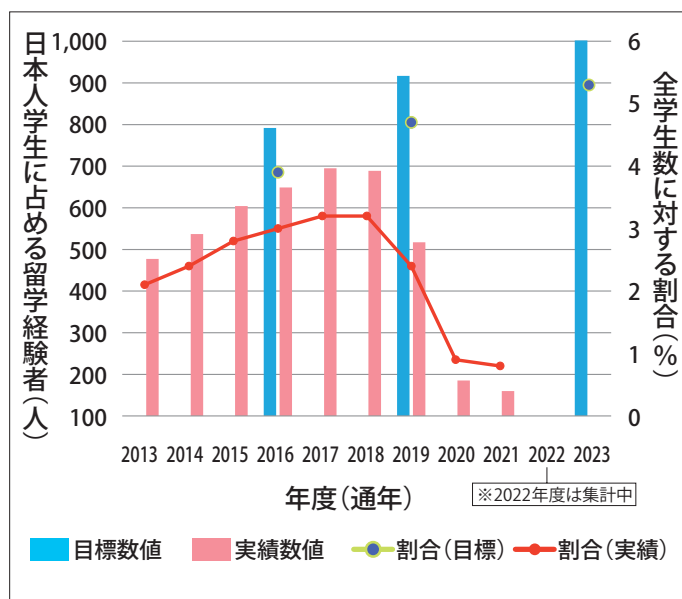
全学生に占める外国人留学生の割合



コロナ禍による入国制限の影響で2020年度には留学生が減少しましたが、オンラインプログラムの開発に取り組むとともに交換留学プログラムの一部をオンラインで実施するなどにより学生交流を継続しました。

今後も実留学へと繋げる取組と位置付け、オンラインによるプログラムを継続していきます。

日本人学生に占める留学経験者の割合



2018年度までは順調に増加してきましたが、新型コロナウイルス感染症発生以降、危機管理上、海外渡航を中止していたため大幅に減少しました。

今後は、実留学をコロナ前の水準に戻すことに注力するとともに、ポスト・コロナにおける新しい留学形態のひとつとしてオンラインによるプログラムを発展・深化させていくことを模索していきます。

多様な文化・言語圏からの留学生リクルート： バーチャル大学ツアー

SGU 採択大学及び世界展開力採択大学等の国際化を牽引する大学群による多様な実績の横展開・連携を強化する環境を整備し、ニューノーマルに向けた高等教育のさらなる国際通用性・競争力の強化を目指し、「大学の国際化促進フォーラム」が2021年9月に発足しました。

本フォーラム事業の一環として、本学からは「多様な文化・言語圏からの留学生リクルート：バーチャル大学ツアー」が採択

され、日本全体の留学生受入数を増加させることを目的とした取組を実施しました。

留学生リクルートのノウハウを共有するために実施したオンラインワークショップにおいては、本学の短期留学プログラムの成功事例や留学フェアアンケートの分析結果を共有するとともに、参加大学からインバウンド活動に関する取組の発表があり、より効果的な留学生リクルート戦略の検討を行いました。

バーチャル大学ツアー開催案内



大阪大学の留学生リクルート体制

- 外国語学部25専攻語
- 日本語日本文化教育センター(教育関係共同利用拠点)
- グローバル日本学教育研究拠点

現地ニーズに応じた
日本の魅力発信

- 海外拠点・ASEANキャンパスの長年のネットワーク活用

多様なチャンネルでの
情報発信



オールジャパンで日本の大学の魅力を発信

日本留学の優位性

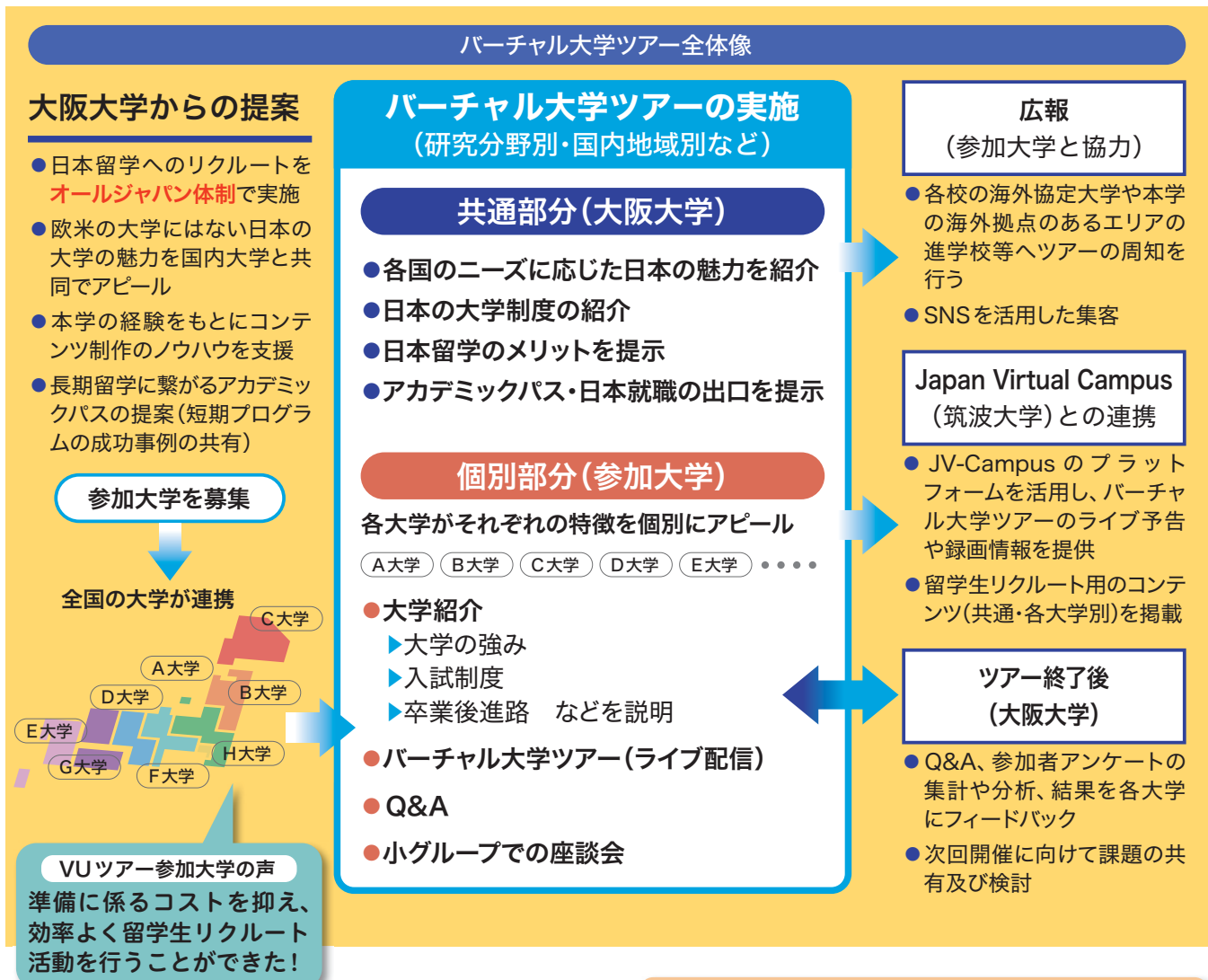


個々の大学の魅力

2022年3月に日本各地の国公立大学と共同で実施した「バーチャル大学ツアー（VUツアー）」においては、日本への留学を希望する学生に対して、オール

ジャパン体制での横連携を強化しながら、2日間にわたり日本留学のメリットや各大学の特色を発信しました。日本留学に係る共通部分の情報提供を本学

が行い、各大学が独自の魅力の紹介に集中することにより、単独で開催するよりも効果的な留学説明会が実施できました。



活動実績

- ▶ **VUツアー・オンラインワークショップの開催**
 - 2021年12月6日開催
参加機関数: 56大学2団体 参加人数: 181人
 - 2022年9月26日開催
参加機関数: 60大学10団体 参加人数: 163人
- ▶ **VUツアーの開催**
 - 2021年度
参加大学: 23大学 参加人数: 5,254人
- ▶ **日本の魅力紹介動画の制作**

海外の学生が日本への留学に興味を持つきっかけとなるような日本文化等の魅力や日本留学のメリット、一般的な大学制度等を紹介するコンテンツを整備

 - 第1弾: 国民健康保険編
 - 第2弾: 外国人相談窓口編

VUツアー参加者の声
短期間で日本留学と生活に関する全般的な情報と個別の大学の留学情報が得られた！



- VUツアーでの日本の魅力紹介画面
- 日本の魅力紹介動画——国民健康保険編
留学時の不安を解消するため、国民健康保険制度や病院の受診等に関する動画を制作